



2026年3月期 第3四半期決算報告

2026年2月5日

1. 経営状況報告

2. 2026年3月期 第3四半期決算報告

3. 2026年3月期 通期見通し

中期経営計画（2022/4～2026/3）の進捗状況

戦略

・映像事業のシネマカメラへの展開、精機事業の新型ArF液浸露光装置・後工程向けデジタル露光装置の開発等、将来の成長のための施策は着実に進捗

経営基盤

・内部管理体制、生産拠点整備、IT/DX投資等、長期成長のための基盤強化策に着手
・政策保有株式および遊休不動産売却などバランス・シートの効率的運用推進

財務計数

・「売上収益7,000億円」目標は4年の中計期間中複数年度で達成したが、収益性関連目標の「営業利益率10%以上」「ROE8%以上」は未達に終わる見込み

デジタルマニュファクチャリング事業における減損損失の計上

- ・①金属3Dプリンター市場の将来成長率低下、②中国メーカーの台頭を含む競争環境激化等を踏まえ、デジタルマニュファクチャリング事業全体の**将来計画を見直し**
- ・SLM社買収に伴うのれん・無形資産を中心に、906億円の減損損失をQ3決算で計上
- ・SLM社のビジネスは拡大基調にあり、米国・欧州等の**防衛・宇宙市場**を中心に**中長期的な成長**を目指す

経営責任の明確化（役員報酬の減額）

・2026年3月期の**最終損失**および**配当予想の引き下げ**等に関する**経営責任**を明確にするため、会長CEOおよび社長COOの2026年3月期に係る**賞与および業績連動型株式報酬を全額不支給**とする

主要株主の状況

・エシロールルックスオティカ社14.2%保有(1月26日現在)。最大**20%保有のクリアランス**取得済

5月公表予定の次期中期経営計画(2026年4月～2031年3月)では、「短期業績の回復」と「長期成長のための投資」の両立を目指す